

センター通信



「反省は必要なのか？」

伊丹市立笹原中学校
生徒指導主事 奥村 優一

伊丹市立笹原中学校で生徒指導主事として歩み始めて、5年が経ちました。様々な生徒指導問題、家庭での問題を解決するために、多くの学校関係者の皆様方に支えられていると日々感じております。教育活動に多大なる御理解、御協力に心から感謝申し上げます。

さて、最近日頃から生徒指導に関する相談をさせていただき、お世話になっている方から「これ、読んでみたら」とお借りした1冊の書が、自分自身の生徒との向き合い方を再度考える機会となりました。そのタイトルは『反省させると犯罪者になります』（岡本茂樹著）です。「反省させない方がいいとはどういうことだろう？反省は必要ではないのか。」と疑問に思いました。

読み進めてみると、万引きなどの非行・犯罪行為をした後、即座に反省させようとするや、反省文を書かせる行為は多くの場合、「世間に向けて反省をしたふり」に過ぎないということ。それどころか、自分の苦しみ、置かれている状況などを誰も理解をしてくれないと心を閉ざし、結果として、この「偽りの反省」が非行や犯罪行為に再び手を染めてしまうことにつながる事例が具体的に説明されていました。

では、反省をさせてはいけないのであれば、どうすればいいのか？それは、原因となったものや背景に目を向け、時間をかけて共に理解することです。なぜその行為に至ってしまったのかを深く考え、自分自身を見つめさせるプロセスこそが何よりも大切だと学びました。教員（自分自身）は問題行動があった際、「反省をさせなければ」「良くないことをしたという理解をさせねば」という使命感を優先しがちであるように思います。それは、教えたい、伝えたいという教育愛からくるものだと思いますが、この強い思いこそが、生徒の内省を妨げているかもしれません。本当の「反省」や「成長」につなげるためにも、一人ひとりを理解しようと努め、「なぜそうしてしまったのか」という問いを、感情的にならずに、対話を大切にしていける姿勢こそが重要なのだと、この本を通して改めて感じることができました。

子どもたちを取り巻く社会の変化に伴い、令和4年12月に生徒指導提要が改訂されました。学校教育がこれまで培ってきた大切な礎を維持しつつも、子どもたちの育成に携わる担い手として、新たな知識や価値観を吸収し続けることが私たち教員の責務です。学びを積み、子どもたちの未来のために今後も教壇に立ち続けていきたいです。

伊丹市青少年健全育成研修会 ― 伊丹市青少年を守る店連絡協議会 ―

11月28日（金）、令和7年度 伊丹市青少年健全育成研修会が伊丹市労働福祉会館（スワンホール）にて開催されました。開会行事では、伊丹市青少年を守る店連絡協議会の 稲野 会長の挨拶後、伊丹警察署長 丸山 文勝 様にご来賓を代表してご挨拶いただきました。

また、ご来賓として、伊丹少年補導員連絡協議会 会長 滝内 秀昭 様、伊丹市保護司会 会長 石堂 行文 様、伊丹市少年補導委員連合会 会長 林 明美 様、伊丹市PTA連合会 会長 高橋 靖人 様にご臨席いただきました。

― 研修会 ― 演題 「更生保護と保護司」

講師 神戸保護観察所 統括保護観察官 市場 徳志 氏

研修会は、神戸保護観察所 保護観察官 松尾 忠親 氏、伊丹市保護司会 保護司 石堂 行文 氏と伊東 美紀 氏が加わり、パネルディスカッション形式で保護観察官の役割や保護司との連携についての討議がなされ、多様な視点から学びを深めることができました。

管外研修 ― 伊丹市少年補導委員連合会 ―

11月11日（火）、少年補導委員の資質向上と補導活動の充実、そして今後の活動に役立てるために管外研修会を開催しました。今年度は少年補導委員 28 名が参加し、大阪府茨木市にある浪速少年院を訪問しました。国内で最初（大正 12 年）に設立された少年院で、収容されている少年に生活訓練課程や職業能力開発過程を実施し、更正・社会復帰させる役割を担っている施設です。全力で少年たちをサポートする法務教官や技術指導される方のご苦労を知るとともに、社会復帰後の少年たちを含めたすべての伊丹っ子が孤独を感じない「居場所づくり」をサポートできるよう努めたいと考えました。

11 月 補導活動 ― 暫定値 ―		幼児 小学生	中学生	高校生 その他	大 人	相談活動 件数	
						電話相談	0 件
あいさつ		4 3 9 5	1 4 8	6 7	4 5 5	来所相談	6 件
声かけ/会話等		2 8 7	3 4	2 7	8 7	メール 相談	1 件
(内) 問題 行動	遊びに関して	5	0	2	0	有害図書 回収状況	
	交通に関して	2 5	9	6	8	有害図書	1 5 1 冊
	その他	1 3	3	5	8	有害 AV 等	1 6 3 個

地域の心強い存在 少年補導委員 ―11 月の補導活動報告書より―


- ・遊具で遊んでいる児童の中に 1 人泣いている子に気づいた。声をかけると「遊具の柵を乗り越えようとして失敗した。」とのこと。痛がる腕が腫れていたので、児童の在籍する小学校へと連絡し、保護者に引き渡すことができた。
- ・夕暮れ時、公園で困っている様子の女兒に声をかけると、「友達と初めて来た公園で、友達が先に帰ってしまっって帰り道が分からない。」とのこと。GPS で繋がっている保護者と連絡が取れ、保護者に引き渡すことができた。

日々、地域での補導活動を行っている少年補導委員さんたちは、非行防止への声かけとともに、上記のように、子どもたちを見守る活動にも心を配ってくださっています。本当に心強い地域の存在です。

ひょうご防犯ネット情報 （11/1 ～ 11/30 掲載分）

日	時刻	場 所	事 案	概 要 ― 行為者確保・警告等があったものには☆印 ―
10	17:00	緑ヶ丘 1	声かけ	徒歩で通行中の男子小学生に対し、外国人風の女が、すれ違いざまに声をかけた後、反転して後方から追いかけてきた。
15	11:50	中央 1	暴行事件	自転車で行走中の女子小学生に対して、男がすれ違いざまに肩を叩いた。
19	16:54	神津公園	無断撮影	公園で遊んでいた女子小学生に対して、男 2 人がデジタルカメラを向けて撮影する素振りをした。
23	21:55	宮ノ前 2	不審者	男が店舗で刃物(のこぎりのようなもの)を左手に持って歩いていた。

12月の予定 * 少年愛護センター 閉館日(年末年始) 令和 7 年 12 月 27 日(土)～令和 8 年 1 月 4 日(日)

4(木)	兵庫県青少年補導委員連合会 阪神ブロック合同研修会		19(金)	繁華街特別補導 (神津・稲野・鴻池)
8(月)	伊丹市少年補導委員連合会 役員会・定例理事会		22(月)	有害図書回収 (各小学校区)
			(随時)	街頭補導活動 (各中学校区)
				中学校区内補導活動 (各中学校区)
10(水)	広報啓発活動 (稲野・昆陽里) 一斉補導活動 (緑丘)			電話・来所・メール相談 (愛護センター)
「センター通信」へのご意見感想を、伊丹市立少年愛護センター (TEL072-780-3540) までお寄せください。				